

「自動運転システムにおける標準化」セミナー  
-GRIPS・NISTEP・東工大・JSA 標準化討論会-

標準化は、技術的成果の普及促進、安全性の確保、部品の接続性の担保、品質・性能の比較可能性の向上といった機能を有しており、科学・技術・イノベーションと社会の関係を考える上での重要なテーマの一つです。日本規格協会と政策研究大学院大学では、2009年度より、標準化に関する年一回のセミナーを開催してまいりました。2012年度からNISTEP、2013年度から東工大が、共催団体となっております。今回のセミナーでは、自動運転システム(Intelligent Transportation System: ITS)について、技術開発の現状や社会実装の可能性を概観した上で、今後どのような標準が必要となるのかを検討いたします。

主催： 国立大学法人 政策研究大学院大学(GRIPS)／文部科学省 科学技術・学術政策研究所(NISTEP)／国立大学法人 東京工業大学大学院 理工学研究科 工学系／一般財団法人 日本規格協会(JSA)

協賛： 公益社団法人 自動車技術会(依頼中)／一般社団法人 日本機械学会 法工学専門会議／研究・技術計画学会

日時：2015年3月5日(木) 15:30-18:00 (15:00受付開始)

会場：政策研究大学院大学 5階 講義室L

参加費無料、要事前参加登録(定員 100名)

参加登録を右ウェブサイトからお願いいたします <http://1503.grips-symposium.info/>

## プログラム

15:30-15:35 開会挨拶

榊原 裕二 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 所長

15:35-16:15 次世代モビリティの課題(仮題)

河合 俊岳 株式会社本田技術研究所 四輪 R&D センター 主任研究員

16:15-16:55 ITSに関する規格の現状と今後の展望

三角 正法 ITS 標準化委員会走行制御分科会長(マツダ株式会社)

16:55-17:00 休憩

17:00-17:40 次世代モビリティとITS、自律走行の社会実装(仮題)

鈴木 高宏 東北大学未来科学技術共同研究センター 副センター長、教授

17:40-17:55 コメンテータによるコメント

コメンテータ:

田中 正躬 日本規格協会 前理事長、国際標準機構(ISO) 元会長

隅藏 康一 政策研究大学院大学 准教授／文部科学省科学技術・学術政策研究所 第2研究グループ 客員総括主任研究官(本セミナー企画責任者)

17:55-18:00 閉会挨拶

以上